

報告 5

各務原東部線の再編について

【各務原東部線の概要】

各務原東部線は、「新鵜沼駅」－「各務西町営業所」間を運行する株式会社岐阜バスコミュニティの路線バスである。

おがせ町や八木山地区、鵜沼西町、東町を經由し、主に新鵜沼駅から八木山地区までの区間で乗降される利用者が多い。

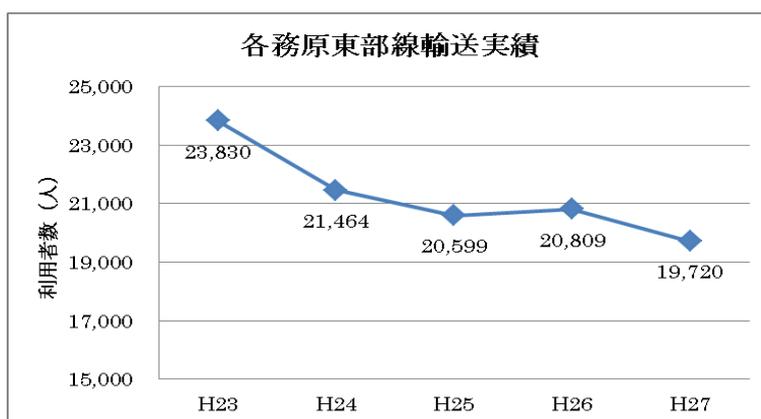
運行本数

	系統	現行本数（本）
平日	下り（新鵜沼駅→各務西町営業所）	15
	上り（各務西町営業所→新鵜沼駅）	8
祝日 土日	下り（新鵜沼駅→鵜沼中学校）	12
	上り（鵜沼中学校→新鵜沼駅）	7

【各務原東部線の現況】

各務原東部線は、八木山団地等の住宅街と新鵜沼駅間の通勤通学利用者が多かったが、近年は利用者が減少傾向にあり、直近平成 27 年度では利用者数が 2 万人を切り、19,720 人に留まった。

また、同路線単独の収支状況を見ると、経常赤字が続いており、平成 27 年度は約 1 千万円の赤字、市補助金（欠損額の 1/4）により最終収支が約 800 万円の赤字となっている。



平成 27 年度実績 単位：千円

経常収入	経常費用	経常収支	補助金額	補助後収支
3,968	14,901	▲10,933	2,733	▲8,200

【今後の展望】

経常赤字が続く中で、廃止を前提に運行のあり方を検討されている。

一方、各務原市では、ふれあいバスに対して鵜沼地区から東海中央病院への直通便がなくなったことに対して強い要望を受けており、この課題を路線バスも含めた公共交通ネットワークでの解決を目指しているところ。

路線バスの利用増進、収支改善を図りつつ、公共交通の課題解決を目的に、各務原東部線の運行体系を見直し、鵜沼地区から東海中央病院への路線形成を検討する。